

# 国語科学習指導案

日 時 平成23年11月10日（木）5校時  
学 級 紫波町立紫波第二中学校  
2年1組 28名  
場 所 2年1組教室  
授業者 中村 正成

## 1 単元

「(仮題) 走れディオニス」を書き上げよう

## 2 単元の目標

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・表現の効果や登場人物の言動に気を付けながらその心情や性格を読み取ろうとしている。

〈読む能力〉

- ・表現の効果や登場人物の言動に気を付けながらその心情や性格を読み取り、登場人物の立場に立って作品を再構成することができる。(C-I)

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・文章中に出てくる語句について理解し、登場人物の心情や性格を読み取るのに役立てることができる。(言-I (イ))

## 3 生徒について

本学級は素直で明るく、前向きな生徒が多い。普段の授業も活発に発言し、意欲的に取り組んでいる。国語についても、好きな生徒が約8割を占める。特に小説を読み味わうのが好きな生徒が多く、図書館の利用率も高い。

1学年では、「麦わら帽子」「少年の日の思い出」を通し、場面展開の描写に着目しながら登場人物の心の変化を読み取る活動を行った。また、2学年では、「盆土産」の父親に着目し、父親が盆土産にえびフライを選んだ理由を討論しあった。父親の家族に対する思いを深く読み味わい、交流することができた。

人前で話すこと自体が好きな生徒が多く、話し合い活動・グループ活動については肯定的にとらえている生徒が比較的多い。グループであればなお一層抵抗なく自分の意見を述べることができ、より多くの人々の意見を聞き、自分の理解に役立てることができると考えている生徒が多いようである。

※国語に関するアンケート（平成23年8月24日実施。無回答2名）

### Q1 国語が好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
11名（39%）	12名（43%）	0名（0%）	3名（10%）

Q2 話し合い活動・グループ活動が好きですか。

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
8名 (29%)	11名 (39%)	3名 (10%)	4名 (14%)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の意見が聞ける。(9名)</li> <li>・自分の意見が言える。(3名)</li> <li>・楽しい。(5名)</li> <li>・協力できる。(2名)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人前で話すのが苦手だ。(5名)</li> <li>・話し合ってもいい結果がでない。(1名)</li> <li>・面倒だ。(1名)</li> </ul>	

4 指導計画 (7時間扱い)

- (1)本文を通読し、学習の見通しを持つ。…………… 1時間
- (2)人物相関図を書き、登場人物の人間関係について考える。…………… 1時間
- (3)盗賊とディオニスの関係から、ディオニスの人物像をとらえる。…………… 1時間
- (4)ディオニスが人を疑うようになったのはなぜかを考える。…………… 1時間
- (5)刑場でのディオニスの心情を考える。…………… 1時間(本時)
- (6)ディオニスの立場で「(仮題) 走れディオニス」を書く。…………… 2時間

5 本時について

(1)主題 刑場でディオニスは何を思っていたのだろうか

(2)目標

刑場でのディオニスの気持ちを登場人物の言動を根拠としながらとらえることができる。

(3)研究にかかわって

単元を貫く言語活動として、ディオニスの立場から「走れメロス」を書き改める活動設定した。生徒にとってはメロスの心の変化や行動に執着して読みがちなこの小説を、ディオニスの視点から読ませてみたい。この作品では、メロスだけでなくディオニスもまた悩み葛藤しながらも立ち上がろうとしている。特にメロスとセリヌンティウスの抱擁を目にし、ディオニスの心は大きく動く。この時ディオニスは何を思って彼らの抱擁を見つめていたのか。この場面を考えることで、ディオニスがただ悪玉として存在しているのではなく、葛藤しながき苦しみながらも改心しようとしている人間として存在することに気付かせたい。学習課題への追求に当たっては、前時までに学習したディオニスの人物像や本文中から根拠を探させ、逐次確認しながら進めていきたい。集団での意見交流を受けたのち、最終的には個人でもう一度考えさせ、人間・ディオニスを改めて味わわせたい。

(4)本時の展開

段階	学習項目	学習活動	時間	指導上の留意点
導入	0. 宿題及び前時の確認	0. 持ち物・宿題を確認し、前時の確認をする。 ※宿題:ディオニスの性格描写を改めてノートに書いてくる。	2	□教科リーダーは持ち物・宿題を確認する。 ☆ノートの確認
	1. 学習課題の確認	1. 本時の学習課題を確認する。	1	
刑場でディオニスは何を思っていたのだろうか				
展開	2. 個人での課題の追求	2. 学習課題について、自分の力で考えてプリントにまとめる。	5	☆個人プリント
	3. グループによる話し合い	3. 学習課題について、個人の意見を交流しあう。 (1)役割分担を行う。 (司会・記録・発表) (2)順番に自分の意見を言い、意見を交流しあう。 (3)掲示用の紙に意見をまとめ、提出する。 (予想される生徒の答え) ・メロスとセリヌンティウスをうらやましく思い、仲間になりたいと考えた。 ・来ないと思っていたメロスが来て、驚きうれしく思った。 ・「顔を赤らめて」から、メロスを疑っていた自分を恥ずかしく思った。 ・「静かに」から、これまでの自分を振り返り、国王として民衆を信じていく決意を心の底から思った。	15	□「考えを表現しあう活動」 □聞き方レベル3・4 ・聞いた内容のポイントをまとめる ・聞いたことから自分の考えを持つ ☆宿題のメモ ☆前時までのノートや学習プリント
	4. クラスでの課題の追求	4. 掲示されたものを順に発表し、クラス全体で意見を交流する。	15	□聞き方レベル4 ・聞いたことから自分の考えを持つ
	5. 個人でのまとめ	5. 4を参考に、ディオニスの当時の心情を再度まとめてみる。	5	☆学習プリント

終 結	6. まとめの発表	6. 個人でまとめたものを発表しあう。	5	
	7. 自己評価の記入と次時の確認	7. 自己評価を記入し、次時は「(仮題) 走れディオニス」を作ることを確認する。	2	

(5)本時の評価規準

評価	国語への関心・意欲・態度	読む能力
A	ディオニスの心情をについて自分の意見を持ち、進んで意見を発表し、お互いの考えを深めようとしている。	ディオニスの人物像を全体的にとらえた上で、彼の心情について自分の意見を持ち、学習プリントにまとめることができる。
B	ディオニスについて自分の意見を持ち、交流して自分の考えを深めようとしている。	ディオニスの心情について自分の意見を持ち、ほかの人の意見を参考にしながら学習プリントにまとめることができる。
C への 支援	机間巡視し、自分の意見を発表するように促す。	考える視点を与えながら、意見をまとめるように促す。また、前時までの学習や補助発問を通して考えを深めさせる。